

## 職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																				
横浜ワレージ	昭和51年8月16日	岩崎 有紀子	〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸1-2-7 (電話) 045-311-5561																				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																				
学校法人岩崎学園	昭和26年3月8日	理事長 岩崎 文裕	〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸1-2-7 (電話) 045-311-5561																				
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																		
文化・教養	文化・教養専門課程	ブライダル科		平成19年文部科学省告示 第21号	-																		
学科の目的	本学科は、開設以来、一貫して本物の婚礼をプロデュースする実践的な「ブライダルプロジェクト」の授業を核に、教育課程を編成している。業界企業と学生が直接コンタクトを取り、協業するプログラムを通して、職種への理解を促進するとともに、求められるスキル、ホスピタリティマインドを養成し、ブライダル業界で実践的に活躍できる人材育成を目的としている。																						
認定年月日	平成26年 3月 31日																						
修業年限	昼夜	講義		演習	実習	実験	実技																
2年	1710時間	135時間		420時間	1,155時間																		
時間																							
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																		
160人	167	0人	7人	14人	21人																		
学期制度	<b>前期:</b> 4月1日～9月30日 <b>後期:</b> 10月1日～3月31日		成績評価	<b>成績表:</b> 有 <b>成績評価の基準・方法</b> 5段階評価 ・評価点90点以上「S」評価 ・評価点80点以上90点未満「A」評価 ・評価点70点以上80点未満「B」評価 ・評価点60点以上70点未満「C」評価 ・評価点60点未満「D」評価(不合格) 2段階評価 ・「認」評価 ・「否」評価(不合格)																			
長期休み	<b>学年始:</b> 4月1日～4月5日 <b>夏季:</b> 8月1日～8月31日 <b>冬季:</b> 12月25日～翌年1月7日 <b>学年末:</b> 3月21日～3月31日		卒業・進級条件	成績の評価の「S」、「A」、「B」、「C」および「認」評価を合格とし、合格した科目については、所定の単位を認定する。卒業・進級にあたっては、必修科目の単位がすべて認定されることが条件となる。																			
学修支援等	<b>クラス担任制:</b> 有 <b>個別相談・指導等の対応</b> クラス担任制をとり、定期的な個人面談を実施し、学生の適性や個性を尊重した対応に努めている。また、より良い職業人の育成をめざし、学生生活の中に、入学年次の4月～9月の導入教育から、企業連携授業・インターンシップ、就職指導を有機的につなげるプログラムを記している。		課外活動	<b>課外活動の種類</b> 校外研修、国内研修旅行、海外研修旅行  <b>サークル活動:</b> 有																			
就職等の状況※2	<b>主な就職先、業界等(令和3年度卒業生)</b> (株)ダイヤモンド・ノット、(株)ベストブライダル、富士屋ホテル(株)、ホテル雅叙園東京 ほか <b>就職指導内容</b> 就職指導部を設置し、教務部と協力した就職指導を実施。主な内容は、就職面談、面接対策指導、筆記対策指導、校内合同業説明会開催、各業界企業セミナー開催などを実施している。 <b>卒業生数</b> : 93 人 <b>就職希望者数</b> : 85 人 <b>就職者数</b> : 83 人 <b>就職率</b> : 97.6 % <b>卒業生に占める就職者の割合</b> : 89.2 % <b>その他</b> (令和3年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	<b>国家資格・検定/その他・民間検定等</b> (令和3年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公社 実務技能検定協会主催 サービス接遇検定 準1級</td> <td>③</td> <td>80</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>公社 実務技能検定協会主催 サービス接遇検定 1級</td> <td>③</td> <td>23</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>公社 日本ブライダル文化振興協会主催 ブライダルコーディネート技能検定3級</td> <td>③</td> <td>80</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) <b>自由記述欄</b> 実務技能検定協会 サービス接遇検定 団体優秀賞				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	公社 実務技能検定協会主催 サービス接遇検定 準1級	③	80	73	公社 実務技能検定協会主催 サービス接遇検定 1級	③	23	14	公社 日本ブライダル文化振興協会主催 ブライダルコーディネート技能検定3級	③	80	80
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																				
公社 実務技能検定協会主催 サービス接遇検定 準1級	③	80	73																				
公社 実務技能検定協会主催 サービス接遇検定 1級	③	23	14																				
公社 日本ブライダル文化振興協会主催 ブライダルコーディネート技能検定3級	③	80	80																				
中途退学の現状	<b>中途退学者</b> 25名 令和3年4月1日時点において、在学者 198名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者 173名(令和4年3月31日卒業生を含む) <b>中途退学の主な理由</b> 病気療養、経済事情、進路変更 <b>中退防止・中退者支援のための取組</b> クラス担任/学科リーダーによる個別面談や三者面談などで、状況把握と適切な対応。カウンセラーにおけるカウンセリング対応。入学前教育の充実で、ミスマッチの防止。奨学金の紹介や学費分割納入制度などの経済的支援。		中途退学率	12.6 %																			
経済的支援制度	<b>学校独自の奨学金・授業料等減免制度:</b> 有 岩崎学園奨学生制度、岩崎学園震災特別対応基金制度、岩崎学園専門学校授業料減免制度 <b>専門実践教育訓練給付:</b> 非給付対象																						
第三者による学校評価	<b>民間の評価機関等から第三者評価:</b> 無																						
当該学科のホームページURL	https://yfc.iwasaki.ac.jp/index.html																						

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針  
 高等学校教育の基盤の上に深く専門的な教育を施すにふさわしい授業を行うため、就職先企業などと連携し、その要請を十分に活かしつつ、教育課程の編成に反映させることにより、職業教育の質を高める。外部の関連施設の意見を教育課程編成に反映させるための機能として、「教育課程編成委員会」を設置する。教育課程編成にあたっては、授業内容、授業方法およびその手法、法定の範囲内での授業科目の新たな開設など「教育課程編成委員会」の意見を反映させるものとする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け  
 教育課程編成委員は、就職後に求められる実務に関する理論・知識・技術・技能などを十分に把握し、それを職業教育に具体化するために、特に教育課程につき意見を述べ、その編成に寄与するものとする。このため、関連業界の動向や地域の実情に明るく、かつ経験豊富で卓識をもつ者を外部委員として選任する。また、実務のみならず、学校教育についても十分な理解があることが望まれる。委員会は学校長が主催し、外部委員のほか教育課程編成にたずさわる教職員も協議に加わるものとする。協議の結果については、教員会議で共有し、学校長の判断をもって、当該年度または翌年度の教授内容、教授方法など教育に具体的に活かすものとする。また、上記の性質から「学校関係者評価委員会」とは、役割を異にし、別組織として運営を行う。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年5月31日現在

名前	所属	任期	種別※
上野 真帆	一般財団法人ファッション産業人材育成機構 IFIビジネススクール 課長	R4.4.1~R5.3.31	F系①の役職者
蒲生 典子	一般社団法人ジャパニーズ・アート・ドレッシングアワードアソシエーション 運営委員 株式会社ガモウ 代表取締役執行役員社長	R4.4.1~R5.3.31	B系①の役職者
佐々木 貴夫	公益社団法人日本プライダル文化振興協会 事務局長	R4.4.1~R5.3.31	Br①の役職者
千葉 智之	株式会社リクルート Division統括本部 ビューティDivision リサーチ&アカデミーG ホットペッパービューティーアカデミー アカデミー長	R4.4.1~R5.3.31	B系③の役職者
中村 英二	株式会社イーグラント・コーポレーション 代表取締役社長		B系③の役職者
野坂 透	マイプリント株式会社 取締役 常務執行役員	R4.4.1~R5.3.31	Br③の役職者
古田 弘美	株式会社ユークス 開発担当執行役員 横浜/LA開発室 室長・プロデューサー	R4.4.1~R5.3.31	F系③の役職者
向千鶴	株式会社INFAS/パブリケーションズ 執行役員 WWDJAPAN編集統括兼サステナビリティ・ディレクター	R4.4.1~R5.3.31	F系③の役職者
柳川 純一	株式会社オンワードホールディングス人財Div.人財Sec 課長代理	R4.4.1~R5.3.31	F系③の役職者
横山 昌弘	全国理美容製造者協会 代表理事 日本ロレアル株式会社 プロフェッショナルプロダクト事業本部 営業統括本部長	R4.4.1~R5.3.31	B系①の役職者
岩崎 有紀子	横浜カレッジ 学校長	R4.4.1~R5.3.31	内部委員(委員長)
小松 加代子	横浜カレッジ 教務部 部長	R4.4.1~R5.3.31	内部委員
江波戸 秀樹	横浜カレッジ 教務部 次長	R4.4.1~R5.3.31	内部委員
角館 裕美	横浜カレッジ 教務部 次長	R4.4.1~R5.3.31	内部委員
西木 祐子	横浜カレッジ 教務部 参与	R4.4.1~R5.3.31	内部委員
市川 祐三	横浜カレッジ 教務部 参与	R4.4.1~R5.3.31	内部委員
別所 慶子	横浜カレッジ 教務部 教務課 課長補佐	R4.4.1~R5.3.31	内部委員
森山 光子	横浜カレッジ 教務部 教務課 課長補佐	R4.4.1~R5.3.31	内部委員
藤重 寛志	横浜カレッジ 教務部 教務課 主任	R4.4.1~R5.3.31	内部委員
佐々木 睦美	横浜カレッジ 教務部 教務課 主任	R4.4.1~R5.3.31	内部委員
大塚 留美子	横浜カレッジ 教務部 教務課 主任	R4.4.1~R5.3.31	内部委員
篠原 夕子	横浜カレッジ 教務部 教務課 主任	R4.4.1~R5.3.31	内部委員
安池 かおり	横浜カレッジ 教務部 教務課 主任	R4.4.1~R5.3.31	内部委員
鈴木 理恵	横浜カレッジ 教務部 教務課 主任補佐	R4.4.1~R5.3.31	内部委員
松本 みつほ	横浜カレッジ 教務部 教務課 主任補佐	R4.4.1~R5.3.31	内部委員
三富 千恵子	横浜カレッジ 教務部 教務課 主任補佐	R4.4.1~R5.3.31	内部委員
末次 友香	横浜カレッジ 教務部 教務課 主任補佐	R4.4.1~R5.3.31	内部委員
中澤 宏将	横浜カレッジ 教務部 教務課 主任補佐	R4.4.1~R5.3.31	内部委員
村上 めぐみ	横浜カレッジ 教務部 教務課 専門教員	R4.4.1~R5.3.31	内部委員
桑内 美穂	横浜カレッジ 教務部 教務課 専門教員	R4.4.1~R5.3.31	内部委員
中谷 香穂	横浜カレッジ 教務部 教務課 専門教員	R4.4.1~R5.3.31	内部委員
鈴木 寿子	横浜カレッジ 教務部 教務課 専門教員	R4.4.1~R5.3.31	内部委員
増田 隆司	横浜カレッジ 教務部 広報学生課 課長	R4.4.1~R5.3.31	内部委員

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合には、種別の欄は空欄で構いません。)

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

※学科名の略称 F系:ファッション系学科(ファッションライフデザイン学科、ファッションビジネス科)

Br:プライダル科

B系:ビューティー系学科(ビューティーコーディネーター科、ビューティースタylist科)

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回開催し、7月は当該年度の中間報告として、2月は当該年度の振り返りと次年度方針についての討議を行う。

(開催日時)

第1回 令和4年7月22日 14:00~15:30

第2回 令和5年2月20日 14:00~15:30 (予定)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況  
 委員会ではコロナ禍のブライダル業界の現状やコロナ禍を経た上での顧客の価値観の変化などについて意見交換を実施した。委員からは、①2020年度よりは回復してきているもののコロナ禍前の5～6割ぐらいまでの回復で、2022年の秋以降に婚礼数も回復してくること、②オンラインなどの活用も進み、結婚式の準備も多様化していることなどの意見が出された。令和4年度のカリキュラムでは、多様な価値観に対応できる人財育成を行うため産学連携の研修内容を見直すとともに、授業においてオンラインにおけるコミュニケーション力の強化を進めていく。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針  
 本学科では、2年間で12回のイベント企画運営、婚礼プロデュースを通じ、業界企業と学生が直接のコンタクトを持ち協業するプログラムを作成する。ブライダル業界と常に連携、アプローチ・フィードバックの双方向性を意図した、産業界ニーズやリアルジョブのダイレクトな取り込みを基本とした教育をする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容  
 本学科では、学科グランドデザインに基づき、企業と連携しシラバスを作成し下記の連携科目を実施している。企業講師や担当教員による実習を行い、課題ごとの中間発表や作品展を通して、企業講師の評価を受けている。実習修了時には、担当教員が企業講師の評価を踏まえ総合的に成績評価を行っている。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
ディレクション	モノ・ヒト・空間・想いを演出する仕事の創り方、実践ワークから学ぶリアルジョブ授業。	ホテルニューグランド
ウェディングプランニング	イベント、婚礼制作すべての企業立案運営、企画調整を学ぶ授業。	横浜ベイホテル東急 アニヴェルセルみなとみらい横浜
THE BLESSING	業界理解を深める為、本物の現場でプロと携わり、仕事の進め方や運営力を学ぶ授業。	湯本富士屋ホテル
ブライダルプロジェクト	本物の婚礼を総合プロデュースする実践を目的とする。組織立ち上げからコンセプトワーク運営システムを理解し、婚礼当日における現場での実践を行う。	ハイアットリージェンシー横浜

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的にやっていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針  
 本校では、平成24年4月1日施行の教職員研修に関わる規程に基づき、企業と連携した研修を行うことで産業動向や企業の人材ニーズを理解し、教育内容や就職支援に役立てることとする。研修は本校の人材育成計画に添って、①職業実践に資する知識・技術の習得 ②学生指導・教授法 ③学生サービス・支援等の内容で、年間で計画し、実施する。

(2)研修等の実績  
 ①専攻分野における実務に関する研修等  
 研修名:「ホテル・ブライダル企業管理職対象 SDGs研修・ガバナンス研修」(連携企業等:オータパブリケーションズ)  
 期間:令和3年4月22日(木) 対象:江波戸 秀樹  
 内容:ホテル・ブライダル業界のSDGsやガバナンスのあり方やSDGsを経営に取り込むポイントを学ぶ  
 ②指導力の修得・向上のための研修等  
 研修名:「著作権研修」(連携企業等:株式会社ブライト)  
 期間:令和3年8月23日(月) 対象:鈴木寿子、末次友香、土田真莉菜、大瀬三香子、内藤優里、増田楓  
 内容:ブライダル全般知識の筆記試験、ロールプレイングを受験。

(3)研修等の計画  
 ①専攻分野における実務に関する研修等  
 研修名:「東京ORWA交流会 真夏の東京で沖縄リゾートウェディングを盛り上げよう交流会」(連携企業等:一般社団法人沖縄ウェディング協議会)  
 期間:令和4年7月29日(金) 対象:鈴木寿子  
 内容:沖縄リゾートウェディングの実態について理解し、在京会員間の懇親を深め新たな企業開拓をし、産学連携、就職先へ繋げる。  
 研修名:「ウェディングシンポジウム」(連携企業等:エリアウェディングサミット事務局)  
 期間:令和4年8月3日(水) 対象:松永彩愛  
 内容:長引くCOVID-19の影響を受け、業界の人材不足は深刻な問題。「フリープランナーの存在とは」「離職率の高さの原因とは」「プロプランナーの定義とは」など、ウェディング業界の人材にフォーカスした課題をディスカッション。withコロナとなったウェディング業界の人材、現場の理解を深め、学生指導へ活かす。  
 ②指導力の修得・向上のための研修等  
 研修名:「ビジネス文書研修(入門編)」(連携企業等:株式会社インソース)  
 期間:令和5年2月21日(火)・令和5年3月24日 対象:松本みづほ、鈴木寿子、末次友香  
 内容:ビジネス文書作成の基本を確認し、学生の文書作成指導に活かす。

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学校目的を達成するための目標設定や具体的計画について、達成状況や取り組みの適切さを自己評価として行い、その結果について、本校に定める学校評議委員会が評価を行う。その目的は、学校評価の精度を上げ、客観性を高めるためのものであり、企業、地域代表、卒業生の意見を積極的に汲み取り反映させる。そのため、学校関係者評価委員会を組織し、学校の活動内容を各委員に周知するとともに、意見交換を行う機会を設ける。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	理念・目的・育成人材像は定められているか、また学生、保護者へ周知されているか、公表さ
(2)学校運営	運営会議等が定期的に開催されているか、事業計画が定められているか、等
(3)教育活動	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか、等
(4)学修成果	就職率の向上、退学率の低減、卒業生の活躍、等
(5)学生支援	進路・就職に対する支援体制、学生相談の体制、経済的支援体制、等
(6)教育環境	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか、等
(7)学生の受入れ募集	学生募集活動は適性に行われているか、教育成果は正確に伝えられているか、等
(8)財務	財務基盤は安定しているか、予算・収支計画は妥当か、会計監査は適正か、等
(9)法令等の遵守	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営、個人情報保護の対策、等
(10)社会貢献・地域貢献	学校施設を活用した社会貢献の実施、ボランティア活動の奨励・支援、等
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

全体的な評価に加え、委員からは、専門学校は専門的で熱い想いを持って業界に入ってくる人材育成をして欲しい。「さすが「フレジブルイダル科の卒業生」と言われ続けてほしいと意見を頂いた。本校では、在学中に資格取得は勿論、婚礼やイベント制作でのグループワーク実践学習を強化しており、困難や課題を乗り越える力を育てている。今後も主体的・能動的に行動出来る人材育成に注力していく。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年5月31日現在

名前	所属	任期	種別
市川 雄司	株式会社TFL 代表取締役	R4.4.1～R5.3.31	企業等委員
高田 明宏	株式会社高島屋 執行役員横浜店長	R4.4.1～R5.3.31	業界・地域委員
那須野 教恵	神奈川県教育委員会 教育局 総務室 専門員 (前 県立高等学校 校長)	R4.4.1～R5.3.31	教育行政委員
夏目 哲	株式会社ブライト 代表取締役	R4.4.1～R5.3.31	企業等委員
三根 慎吾	合同会社アタシ社 代表社員	R4.4.1～R5.3.31	卒業生、企業等委員
吉原 直樹	株式会社アルテサロンホールディングス 代表取締役会長	R4.4.1～R5.3.31	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) 公開時期:毎年8月

URL: <https://yfc.iwasaki.ac.jp/index.html>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育活動や学校情報を外部に提供することにより、専門学校の社会的な理解・評価を促進し、教育の質の確保・向上を図ることを目的とする。情報の提供にあたっては、学生や保護者、関係業界等が求める情報の内容を把握し、その求めに応じた情報を適切に提供することを基本とし、また、その方法にあたっては、学校案内書などのパンフレット、各種説明会における説明、広報物、学校ホームページなど提供すべき情報の性質にあわせた適切な手段で行う。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校教育・人材養成の目標及び教育指導計画、特色、学校長名、所在地、連絡先、学校の沿革、歴史、等
(2)各学科等の教育	入学者に関する受け入れ方針及び入学定員、カリキュラム、時間割、学習の成果として取得
(3)教職員	教員の紹介
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職支援等への取組状況、実習の取組状況
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況、課外活動(ファッションショー、イベント活動)
(6)学生の生活支援	学生支援の組織(クラス担任制)
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金の取扱い(金額、納期時期等)、活用できる教材の支援措置の内容等(奨学金、
(8)学校の財務	事業報告書、等
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
(10)国際連携の状況	
(11)その他	学則、厚生施設の案内

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

ホームページ URL: <https://yfc.iwasaki.ac.jp/index.html>

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 ブライダル科)															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			ドレスメイキングⅠ	服飾知識・洋裁基礎技術の習得。	1・通	90			○	○		○		
2	○			デザインテクニックⅠ	ブライダルデザインアイテムのデザイン制作。丁寧で美しいモノ創りと空間造形。	1・通	60			○	○			○	
3	○			ライフデザインⅠ	就職から恋愛・結婚・育児・家庭・再就職・老後まで現状に即した自分の人生デザイン。	1・前	15	○			○			○	
4	○			フラワーアレンジメントⅠ	トータルフラワーアレンジメント、装飾花、ブーケデザイン、シーズンアレンジメント。	1・通	60			○	○			○	
5	○			トータルブライダルコーディネート	フォーマル知識、トータルビューティースタイリング。	1・通	120	△		○	○		○	○	
6	○			カリグラフィⅠ	ヨーロッパの手書き英文字のデザイン展開とオリジナルデザインの創作、作品化。	1・通	60			○	○			○	
7	○			ウエディングプランニング	イベント、婚礼制作すべての企画立案と運営、企画調整、プレゼンテーション、オペレーション。	1・通	90	△	○		○			○	○
8	○			コミュニケーショントレーニング	接客コミュニケーション能力開発とサービストレーニング。	1・通	30	△	○		○			○	
9	○			ITリテラシー講座	ビジネスで活用できる文書作成、表作成、プレゼンツールを理解し、ビジネス文書や企画書の作成、プレゼンテーション用ツールの作成技術を身につける。	1・通	30		○		○		○	○	
10	○			サービストレーニング	マナー、サービス、ホスピタリティ、おもてなしを理解し、どうしたら喜んでいただけるか、満足感を感じていただけるかを常に考え行うことができるようになる。	1・通	30	○			○			○	
11	○			ビジュアルクリエーションⅠ	映像・写真・音声のデジタル構成と編集。	1・前	15		○		○		○		
12	○			ブライダルサウンド	音楽効果、選曲・編集などのサウンドとライティングの総合空間コーディネーション。	1・後	15		○		○		○		
13	○			ブライダルジュエリー	ビーズをメインにしたブライダルジュエリーデザインの商品製作と販売。	1・通	90			○	○			○	
14	○			THE BLESSING	毎週さまざまなテーマで展開される自己啓発授業。自分発見・自己創造・磨き上げ。	1・前	45	△	○		○		○	○	

15	○		ディレクション	ヒト・モノ・空間・想いを演出する仕事の創り方、実践ワークから学ぶリアルジョブ授業。	1・後	45		△		○	○		○		○	
16	○		クラスアクティビティ	すららネットや学内活動などの各種活動で運用。	1・通	60			○		○				○	
17	○		サービス接客検定2級対策講座	社会人・組織の一員として求められる接客・接客スキルを身につけるために、必要となる知識や技能を学ぶ。	1・後	15		○			○				○	
18	○		クラスアクティビティ	就職活動や学内活動などの各種活動で運用。	2・通	45			○		○				○	
19	○		ドレスメイキングⅡ	オリジナルウエディングドレスのデザイン製作。	2・通	90					○	○		○		
20	○		デザインテクニックⅡ	ブライダルデザインアイテムのデザイン制作。丁寧で美しいモノ創りと空間造形。	2・通	60					○	○			○	
21	○		ブライダルプロジェクト	本物の婚礼を請け負う総合婚礼プロデュース。コンセプトワーク、打ち合わせ技術、プロデュースノウハウなどのクリエイティブ授業。	2・通	330		△			○	○		○		○
22	○		ブライダルビューティー	トータルブライダルビューティー、総合的な美を、栄養・スキンケア・ヘアメイクからマインドケアまで学習。	2・通	60		○		△	○				○	
23	○		フラワーアレンジメントⅡ	高度な押し花デザイン、アーティスティックフラワーデザインの展開と創作。	2・通	60					○	○			○	
24	○		カリグラフィーⅡ	カリグラフィーの高度なデザイン展開、オリジナルデザインの創作、作品化。	2・通	90					○	○			○	
25	○		ホスピタリティ&マナー	サービスパフォーマンス、ユニバーサルサービストレーニング。	2・通	60		△		○		○			○	
26	○		ビジュアルクリエーションⅡ	映像・写真・音声のデジタル構成と編集。	2・通	30				○		○			○	
27	○		ライフデザインⅡ	就職から恋愛・結婚・育児・家庭・再就職をウエディングプランナーのワークライフバランスと共に考察。	2・通	15		○				○			○	
合計					27科目		1710単位時間（単位）									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	各年次における必修科目を履修し、所定の単位をすべて取得した者に対して卒業を認定する。	1学年の学期区分
	1学期の授業期間	15週

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。